な要求に對して同意を與へず、何等顧慮する處なく一蹴し去つたのであります。

ある故に我々は已むなく、ストライキを敢行するに至つたのであります。

而して、其後六回も交渉を重ねたのにも拘らず依然不誠に終始し居ります。

今や、我々職人としてはまさに敢然となつて決起した以上、最後の一人まで立つて此を以て抗争し勝利を得ることを誓つて居ります。

以上のやうな理由で我々は生活を維持するの必然の要求より本争議を決行したのでありますから、我々の要求の容れらるる迄闘ひを續ける決心であります。故に

親愛なる市民諸君並に我々從業員の誠意に對して同情され應援せられんことを御願致します。以上

大正十四年十月十八日

日本労働組合評議會東京合同労働組合争議團

大塚製靴工場争議團